

令和4年度 6つの基本目標・重点事業

将来像の実現に向けて6つの基本目標を定め、まちづくりを推進します。

この6つの基本目標のもとに36の施策を展開し、将来像であります「やすらぎとおもてなしのあふれる町一箱根」を目指してまいります。

将来像：やすらぎとおもてなしのあふれる町一箱根

重点事業総額（33事業、8億841万円）

1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり 6事業 7,967万円

町民が年齢や性別、障がいのあるなしにかかわらず住み慣れた地域で安心して生活できるよう、福祉や医療のサービス提供とともに地域住民による支えあいの活動を支援することを目指します。

No.	事業名(所管課)	事業内容(重点ポイント)	事業総額
1	【新規】 子育てシェアタウン推進事業	町民どうしがゆるやかにつながり、必要に応じて頼り合えることで、安心して子育てができる環境を目指し、子育ての担い手人材の発掘・育成をはじめ、交流・地域活性イベント等の開催、専用アプリを構築する。	1,728万円
	子育て支援課		
2	介護従事者等支援事業	町内の介護事業所における人材確保と人材育成を促進するため、日帰り入浴施設利用券の交付や介護職員初任者研修費用の補助など事業者支援を図る。併せて、町内で介護サービスを受けやすい環境づくりに努める。	66万円
	福祉課		
3	放課後児童健全育成事業	「放課後児童クラブ」の開所時間の延長および開所日の拡大を図るとともに、運営内容の充実を図るなど、働きながら子育てする家庭を支援する。	3,327万円
	子育て支援課		
4	後期高齢者保健事業	生活習慣病やその他の疾患の予防、早期発見を推進するため、現行の長寿健診（後期高齢者健康診査）実施に加え、新たに人間ドック受診費用の一部を助成する。また、特定健康診査においても同様の助成を新たに実施する。	1,336万円
5	<国民健康保険特別会計> 特定健康診査等事業		
	保険健康課		
6	新型コロナウイルス感染症 自宅療養者支援事業	新型コロナウイルス感染症の陽性者で自宅療養している町民のうち、家族や知人等による支援がなく、食料品等の確保が困難な方へ食料品等を支給するほか、パルスオキシメーター等の貸与、ごみの戸別収集などを支援する。	56万円
	保険健康課		

2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり

6事業 1億 365 万円

箱根に愛着を持ち、未来を拓く人材を育てるとともに、学んだことを地域で生かし、自己の能力を最大限発揮することができる社会づくり、人権を尊重し、交流によってお互いに高めあう社会づくりを進めることを目指します。

No.	事業名(所管課)	事業内容(重点ポイント)	事業総額
1	学校給食無償化事業	子育て支援策として小中学校の児童生徒の給食費を一律無償化し、子育て世代の家計負担を軽減し、子育て世代を積極的に支援する。	2,727 万円
	学校教育課		
2	小学校校舎等整備事業	箱根中学校に続き、湯本小学校の校舎・体育館の長寿命化を図るため、改修へ向けた基本設計の実施など、安全安心な学校環境を整備する。	2,364 万円
	学校教育課		
3	<育英奨学金特別会計> 箱根町育英奨学金制度改正	大学等入学資金貸付金に係る資金使途範囲の拡大、貸付限度額の拡充、返還期間の延長を行う。併せて、大学等卒業後における一定期間の町内在住者を対象とした減免制度を再導入し、定住化につながるよう育英奨学金制度の見直しを図る。	2,250 万円
	学校教育課		
4	英語検定取得促進事業	小中学生に対する英語検定料補助の対象級等を上げるとともに、高校生や大学生、社会人に対する同補助はTOEIC検定を新たに対象に加えるなど、国際観光地として、おもてなしの心で外国人を迎えられるよう町民の英語技能の向上を促進する。	93 万円
	学校教育課・生涯学習課		
5	郷土資料館 展示開催等教育普及事業	本町初となる国重要無形民俗文化財の指定を受ける「箱根の湯立獅子舞」に関する特別展を郷土資料館で企画開催するとともに、獅子舞関係者らによるシンポジウムを開催する。	105 万円
	生涯学習課		
6	箱根関所整備事業	江戸時代当時の姿を完全復元した箱根関所の長寿命化を図る再整備に向け、施設の詳細調査及び再整備工事に係る基本計画を策定する。	2,826 万円
	生涯学習課		

3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり

3事業 8,470 万円

道路や住宅環境の整備、環境衛生の推進などにより、箱根に住みたいと思える環境づくりを目指します。

No.	事業名(所管課)	事業内容(重点ポイント)	事業総額
1	住みたいまち箱根推進事業	箱根での生活を体験できる「お試し居住制度」を引き続き実施する。新たに民間移住支援団体との連携協働で「空き家バンク制度」を運用し、物件の掘り起こし・マッチングなどに取り組み。また、「お試しサテライトオフィス制度」を創設し、サテライトオフィスの誘致・関係人口の拡大を図る。	1,770 万円
	企画課		
2	町道箱1号線道路改良整備事業	芦ノ湖畔の箱1号線において、龍宮殿前付近から進めている歩道の整備及び車道の改良工事を引き続き実施する。	5,600 万円
	都市整備課		

3	<公共下水道事業会計> 管路施設建設改良事業	酒匂川流域下水道への編入に向けて、第3号公共下水道事業〔湯本処理区〕に係る湯本・山崎地区の管路施設計画の基本設計を実施する。	1,100 万円
	上下水道温泉課		

4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり

7事業

9,852 万円

町の財産である自然環境を大切にし、環境負荷の少ない循環型社会の形成、事故や災害に迅速に対応できる安全なまちづくりを目指します。

No.	事業名(所管課)	事業内容(重点ポイント)	事業総額
1	【新規】 スマートエネルギー導入促進事業	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、本町における一層の温室効果ガス削減を図るため、町民が居住する住宅への「創エネ・畜エネ・省エネ」効果のあるスマートエネルギー設備導入に対し助成し、エネルギーの効率的利用促進を図る。	115 万円
	環境課		
2	地震等災害対策事業	近年増加傾向にある大雨対策として、新たに「土のうステーション」を町内各所に整備する。また、消防が観測している町内4ヶ所の雨量観測情報を新たにインターネットで公開し、町民、事業者などの避難準備等の判断に活用する。	2,810 万円
	総務防災課		
3	大涌谷火山対策事業	大涌谷園地各事業所の屋内に火山ガス警報回転灯を新たに設置し、ガス濃度が上昇した際の円滑な避難誘導につなげる。また、自然研究路の入場再開の見通しが立ったことに伴い、安全確保に万全を期すため監視体制の強化を図る。	2,570 万円
	総務防災課		
4	ごみ処理広域化推進事業	足柄下郡系統共同処理開始に向け、令和3年度に実施した広域化施設整備運営に係る事業方式等の検討を踏まえ、当該施設の整備運営に係る事業者選定を行う。	3,670 万円
	環境課		
5	<水道事業会計> 災害時緊急給水タンク整備	町内19カ所の災害時拠点箇所に組立式給水タンクを順次配備(3カ年計画の2年目)し、いざという時に被災者へ効率的に飲料水を供給できるよう町内の災害時緊急給水体制を構築する。	285 万円
	上下水道温泉課		
6	地震等災害対応資機材整備事業	令和3年に緊急消防援助隊派遣を行った土石流災害現場で、実際に応援活動に従事した経験を踏まえ、本町で同様の自然災害が発生した際に必要となる各種資機材について新たに整備を図る。	205 万円
	消防本部		
7	消防情報機器等整備事業	通信指令体制のさらなる充実・強化を図るため、ICT等により多様化する119番通報に対応した指令システムへの更新に向けて仕様等を検討する。	197 万円
	消防本部		

5 癒しと文化を提供する観光産業づくり

7事業 1億4,669 万円

多くの人々に安らぎとうるおいをもたらす、伝統文化や歴史が感じられ、世界から目標とされる国際観光地づくりを進めることにより、観光産業の更なる発展につなげることを目指します。

No.	事業名(所管課)	事業内容(重点ポイント)	事業総額
1	【新規】 人材確保等支援事業	町内中小企業等の人材確保と求職者の町内就職を促進するため、事業者が行う人材確保や育成、従業員の働きがいや資質の向上につながる取組みに係る経費を助成する。	500 万円
	観光課		
2	【新規】 中小企業等設備投資促進事業	町内中小企業等が設備投資に要した経費の一部を助成することで、事業用設備の導入・更新を促し、より魅力的な事業環境の構築と経営基盤の強化、町内産業の質の向上を図る。	2,000 万円
	観光課		
3	箱根ジオパーク推進事業	令和2年度に再認定を受けた箱根ジオパークの活動を一層推進するため、小学生夏休み子どもジオ講座の拡大実施のほか、ジオサイト等をリアルなCG画像で紹介する新たなサイト作成、あらゆる人が箱根ジオパークにアクセスできるようオンラインツアーなどを引き続き実施する。	226 万円
	企画課		
4	誘客宣伝事業	アフターコロナを見据え、国内観光客、特に首都圏をターゲットにした誘客プロモーションを電車内・駅構内のデジタルサイネージやラジコなど非接触型ツールを中心に実施する。	1,932 万円
	観光課		
5	インバウンド観光推進事業	インバウンド市場の令和5年度以降の本格的な需要回復を視野に入れ、令和4年度中に国内外の渡航環境が改善された場合に、関係が良好で早期の訪日が期待できる台湾とタイにおいて現地セールスプロモーションを展開する。	281 万円
	観光課		
6	箱根DMO支援事業	DMOが進める「ユニバーサルツーリズム」「観光ガイド育成」「観光DX」経費の一部を助成する。また、DMOをはじめ多くの機関と連携して「パーク&ライド」など各種取組を推進し、町の観光産業の振興・発展、観光経済の拡大を図る。	3,227 万円
	観光課		
7	町内経済活性化事業	長引くコロナ禍により大きく落ち込んでいる町内経済の活性化、早期回復を図るため、観光全般割引券「箱いこクーポン」を販売する。併せて、箱根温泉旅館ホテル協同組合が発行する宿泊割引券「箱びたサンクスクーポン」に助成する。	6,503 万円
	観光課		

6 行政の効率的経営と官民協働体制の強化

4事業 2億9,518 万円

限られた行政資源を効率的・効果的かつ計画的に配分しながら、健全な行財政運営を行っていくとともに、協働のまちづくりを更に進めることを目指します。

No.	事業名(所管課)	事業内容(重点ポイント)	事業総額
1	【新規】 デジタル化推進事業	行政事務のデジタル化を図るため、庁内デジタル化に向けた体制や環境整備を進めるとともに、町民(行政)サービスの利便性向上を図るデジタル化を推進するため、スマホ教室を開催する。	339 万円
	企画課		
2	【新規】 SDGs推進事業	SDGsの町民認知度を高めながら、協働・共生により、持続可能なまちづくりを目指す。まずは国際観光地箱根、環境先進観光地箱根を標榜している町であることを踏まえ、令和4年度に箱根らしい内容のSDGs推進計画を策定する。	36 万円
	企画課		
3	大学連携推進事業	横浜国立大学等との包括連携協定に基づく取組みの一つとして、令和3年度に実証実験した交通防災情報統合ウェブサイト「はこほうマップ」の本格運用を開始する。(※公共交通の運行状況および避難所の混雑状況を確認できるアプリ)	128 万円
	企画課		
4	ふるさと納税促進事業	本町へのふるさと納税を促すため、幅広い層への制度周知や寄付意欲高揚に努め、箱根ファンの拡大、地域活性化および産業振興を図る。(寄付見込額6億円)	2億9,015 万円
	財務課		